

海外安全対策情報（令和6年（2024年）10から12月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

（1）ビクトリア州

イスラエル－パレスチナ間の紛争に関係したパレスチナ支持派、および反戦・反兵器活動家による抗議活動が過激化する傾向にある。12月6日には、アダス・イスラエル・シナゴグが放火される事件が発生し、当局は、9日にテロ事件として捜査することを発表している。抗議活動はエスカレートすることもあり、デモを認知した際には、何らかのトラブルに巻き込まれる可能性も排除されないところ、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。その他、各地で環境団体などによる抗議活動が頻繁に行われており、以下は主なその概要。

・10月7日、パレスチナ支持者約500人が、1年前にイスラエルで発生した1,200人の虐殺に対し、メルボルン・シュラインに集結し、同日を祝賀会の日と宣言した。

・10月27日、トゥーラックの中国総領事館にて、8月にブリスベンで発生した乳児に熱いコーヒーをかけた後に国外逃亡した事件における中国人男性に対して抗議活動が行われた。

・10月30日、タスマニアサーモンを販売することに反対する環境活動家のグループが、複数のウールワーススーパーマーケットで抗議活動を行った。

・11月14日、パレスチナ支持派の Disrupt Wars による妨害予告により、市内バーク通りのマイヤーにて毎年恒例で行われているクリスマスウインドウの展示開会式中止することが発表された。同グループにはビクトリア警察から妨害行為を行わないよう繰り返し要請をしたものの、拒否していた。

・12月6日、Ripponlea にあるシナゴグが放火される事件が発生し、2名が負傷した。8日、同シナゴグコミュニティを支援する集会が行われた。9日、捜査当局は同事件をテロ事件として認定、捜査することを発表。

・12月19日夜、州議事堂の階段でネオナチ・デモが行われた。後日、ビクトリア州警察は、ネオナチ・デモに関与した男一人を特定した、と発表しており、黒い服を着て顔を隠していた20人全員の身元特定が最優先事項であると述べている。

一般犯罪において、過去12か月における犯罪認知件数が15パーセント増加、約43万件となっている。この件数は、犯罪統計局が統計数を発表し始めた2004年以降、最悪の数字となっている。内訳としては、窃盗犯が29.3パーセント増加しており、中でも小売店における窃盗は43パーセント増加している。一般家庭においても戸締り、セキュリティカメラの設置等の防犯対策を含めた注意が必要である。

・10月31日、Port Melbourne のバニングスの駐車場において、2人の女性がクー・クラックス・クランの装束をまとった男性から暴行を受けた事件において、ビクトリア警察は、11月7日、ネオナチの20歳代3人を家宅捜査し、取り調べを行った。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害	49,534	+6%
強盗	3,357	+8%
住居侵入	44,761	+18%
窃盗	208,758	+24%

(2) 南オーストラリア州

9月25日、州議会議事堂にて、後期中絶禁止法案を支持する大規模な集会が行われた。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害（除く DV）	23,871	+8%
強盗	760	-23%
窃盗	54,542	-3%

(3) タスマニア州

・10月15日、タスマニア大学で講義するウォン外務大臣に対し、パレスチナ支持の抗議グループが繰り返し妨害行為をしたため、講義中止となった。

・11月3日、タスマニア州議事堂前にて、森林伐採に反対するグループが抗議活動を行った。

・12月3日朝、Launceston 市内で、警察の警告を無視してナイフを振り回していた男が、警察官に射殺された。この事件で1名の警察官が負傷している。

・12月8日、絶滅が危惧されているレッド・ハンド・フィッシュの生息域を侵害するとして、サーモン事業拡大に反対する抗議グループが Cremorne Beach をパドルアウトの一部を占拠した。

犯罪統計	件数	
暴行・傷害	6,568	-0.1%
侵入窃盗（住居）	1,330	-1.5%
侵入窃盗（店舗対象）	781	-2%

2 邦人被害

一般犯罪

(1) 賃貸物件をめぐる振り込め詐欺の他、マッチングアプリで知り合った女性と携帯電

話で性的な動画を撮影され、ネット上に拡散されたくなければお金を振り込むよう脅迫されるオンライン被害も複数報告を受けているところ、詐欺被害に対する警戒が必要である。

- (2) 市内の立体駐車場、メルボルンセントラル付近で駐車していた車両内に置いていた貴重品が盗難される被害報告を複数件を受けているところ、車内に貴重品を置いたままにしない、等の防犯対策が引き続き必要である。

3. テロ・爆弾事件発生状況

8月5日、Australian Security Intelligence Organisation（以下当局）は豪州のテロの脅威レベルを、「起こりうる（Probable）」へ段階を引き上げました。特定の差し迫った脅威があったからではないものの、中東での紛争が主な要因としています。また4月以降、当局はシドニー西部で発生した教会での刺殺事件を含め8件の事案を調査していると発表しており、今後も継続的にテロに関連した最新の情報の入手に努めてください。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

一般的に対日感情は良好とされ、日本企業等の安全に関わる諸問題については認知していない。他方、令和5年中、および本年10月26日に、我が国に対する抗議デモ（ALPS処理水の海洋放出）が行われている。今後も我が国の政策や社会情勢に応じて抗議活動が活発化する可能性も否定できないことから、これらの動向には引き続き注意が必要である。

※統計は、VIC州犯罪統計局（統計期間：2024年7月から9月まで）、SA州警察、TAS州警察の公表に基づく（統計期間：2023年10月から2024年9月まで）。